

平成30年度株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



あんどろ

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」の利用者数(レジ通過者)は、約80万7千人で農産物直売所を含む総売上高は約8億9,251万円、交流センターとしての経常利益は約△433万円になりました。

地域食材供給施設

○農産物直売所「わだいわ菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地元産の野菜や米をはじめとして、果物・花卉・加工品等を取り扱っています。また、茨城県銘柄豚「ローズポーク」販売も行っており、多くのみなさんに利用され、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

○レストラン「華ごぶし」

家族連れや観光や福祉関係団体の来店が多く、様々な地域食材を利用した食事を提供しています。「ローズポーク」を使用したメニューや石臼挽き自家製粉の手打ちそば(五霞町産常陸秋そば使用)が好評です。

○軽食コーナー

幅広い客層に利用され、名物のローズポークまんに加え、町特産八つ頭を使用した八つ頭コロツケや国産高級果実のプレミアムソフトクリームが人気となっています。

また、手作りかき揚げの天ぷらそば・うどんやご飯ものネギ丼、お土産は茨城道の駅限定の印籠ふ菓子も好評です。



○外フードコーナー

五霞町産米粉を使ったごかりん焼き(人形焼)はもちろんのこと、注文を受けてから作る出来立て持ち帰り弁当や本

格石釜ナポリピザも好評です。



情報施設・交流広場・その他

情報施設では、無料公衆無線LAN(Wi-Fiスポット)が設置され、スマートフォンやタブレット端末等で手軽に無線の高速インターネットが利用可能です。

また、ETC2.0の賢い料金の社会実験が実施され、高速道路の渋滞情報のモニターも設置されました。

外店舗では、深夜営業のラーメン店「一番星」がトラックドライバーの方などに利用いただいています。

イベントコーナー・広場では、茨城のお魚市や手焼きせんべいの実演販売、フリーマーケット・フットボールパークフォーマンス・スプレアーなどの多彩なイベントが開催され、ふれあいの場として賑わっています。